

自立支援医療診断書・精神障害者保健福祉手帳用診断書

作成支援ツール ユーザーズマニュアル(簡易版)

【千葉県版】

Ver.1.0

(2010.01.17 発行)

【 目 次 】

1. 事前準備

1. 1 マクロのセキュリティ設定の変更

2. システムの起動

3. システムチェックおよび入力規制内容

3. 1 入力規制

3. 2 正当性チェック

3. 3 必須入力チェック

※本マニュアルは、製品の正式版マニュアルから、一部抜粋したものです。
本マニュアルでは、「自立支援医療診断書」と「精神障害者保健福祉手帳」の操作方法はほとんど違いがないため、基本的に「自立支援」の説明のみ記載します。
双方で違いがある場合に限り、それぞれに分けて記載してあります。
また、本マニュアルは、Microsoft Excelのマニュアルと合わせてご利用ください。

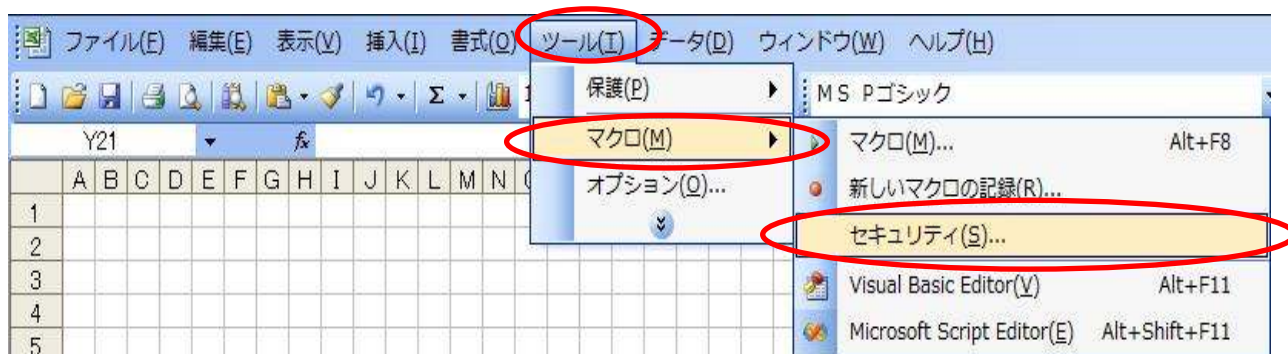
1. 事前準備

1. 1 マクロのセキュリティ設定の変更

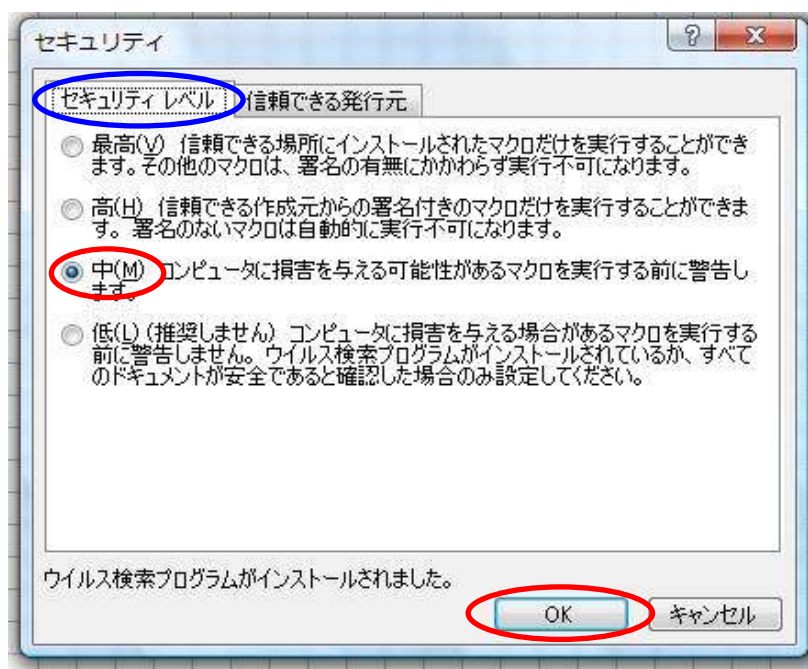
【EXCEL 2003以前のバージョンの場合の設定】

①エクセルを開きます。

②メニューバーの「ツール」⇒「マクロ」⇒「セキュリティ」を選択します。



③セキュリティ設定画面が表示されますので、「セキュリティレベル」タブで、オプションボタンの「中」を選択し、「OKボタン」を押下します。

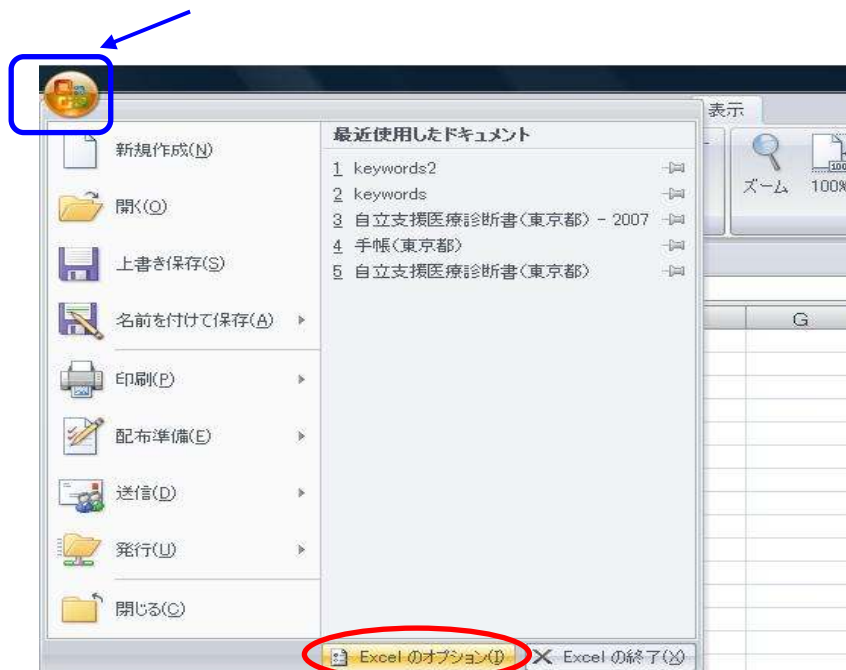


④以上でマクロのセキュリティ設定は終了です。エクセルを閉じてください。
次回エクセルを起動したときは、上記の設定が反映された状態となります。

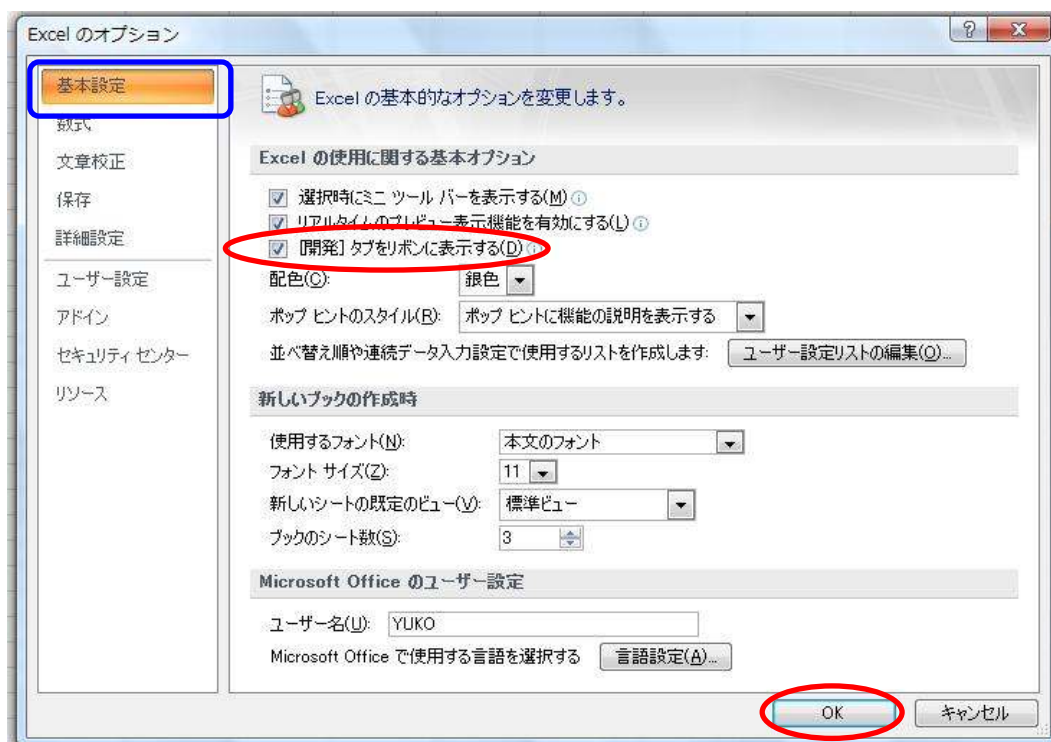
【EXCEL 2007の場合の設定】

①エクセルを開きます。

②画面左上にある「Microsoft Officeボタン」をクリックし、「Excelのオプション」をクリックします。

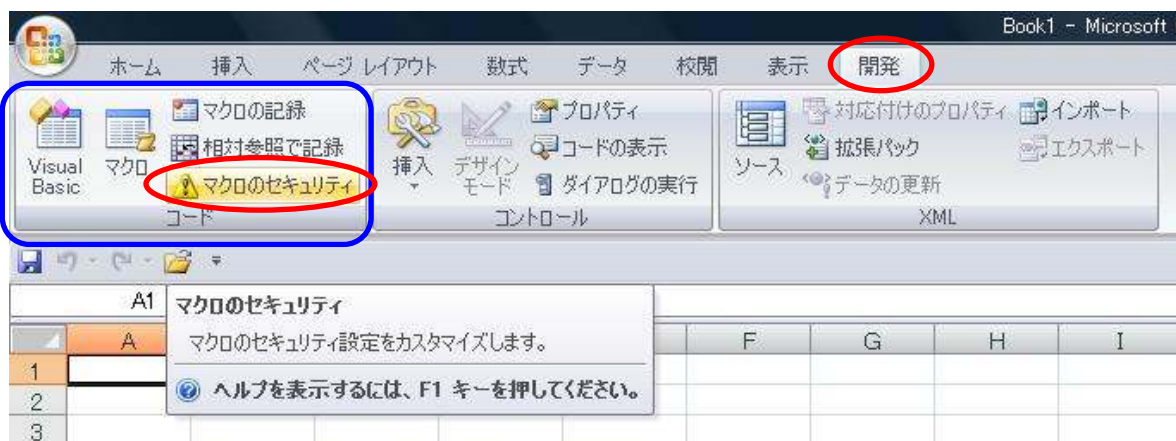


③Excelのオプション設定画面が表示されますので、「基本設定」で、「[開発]タブをリボンに表示する」のチェックボックスをチェック状態にし、「OKボタン」を押下します。

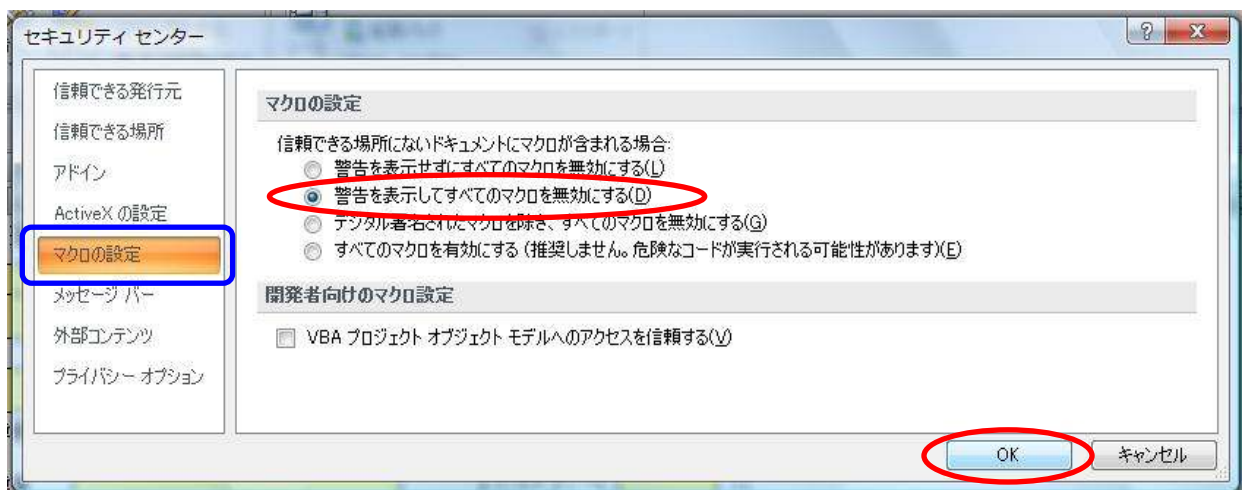


④Excelのオプション設定処理が終了し、リボンに「[開発]タブ」が表示されていることを確認します。

⑤リボンから**「開発」**タブを選択し、「**コード**」グループの中の**「マクロのセキュリティ」**をクリックします。



⑥セキュリティ設定画面が表示されますので、「**マクロの設定**」で、オプションボタンの**「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」**を選択し、「**OK**ボタン」を押下します。



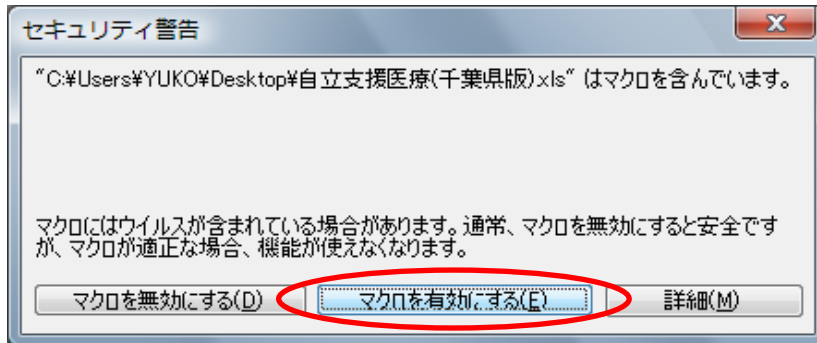
⑦以上でマクロのセキュリティ設定は終了です。エクセルを閉じてください。
次回エクセルを起動したときは、上記の設定が反映された状態となります。

2. システムの起動

エクセルファイルを開けば、その他の操作は特に必要ありません。
ただし、マクロを有効にする必要があります。
マクロを有効にする方法を以下に示します。

【EXCEL 2003以前のバージョンの場合の操作】

①ファイルを開くと、セキュリティ警告画面が表示されますので、「マクロを有効にする」をクリックします。



②これでファイルが正常に開かれますので、システムの起動は終了です。

【EXCEL 2007の場合の操作】

①ファイルを開くと、セキュリティの警告が表示されますので、「オプション」をクリックします。

自立支援医療(千葉県版) [互換モード] - Microsoft Excel

ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

貼り付け クリップボード MS Pゴシック 10 A 折り返して全体を表示する 標準 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル 挿入 削除 セル

セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。 オプション...

150

△ ABC DE F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AA AB AC AD AE AF AG AH AI AJ AK AL AM AN AO AP AQ AR AS AT AU AV AW AX AY AZ BA BB BC BD BE BF BG BH BI BJ BK BL BM BN BO BP BQ C

診断書 自立支援医療(精神通院)用

作成日: 平成 年 月 日 ※1

氏名 氏名 〇 明治 〇 大正 〇 昭和 〇 平成 年 月 日生 (※2 歳) 男 女

住所

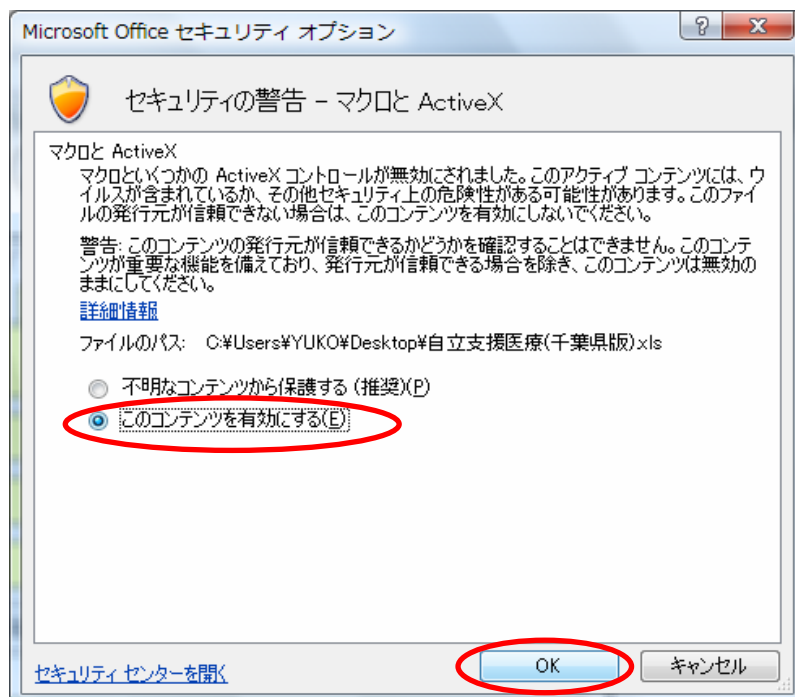
① 病名 (1) 主たる精神障害 ICDカテゴリー () (2) 従たる精神障害 ICDカテゴリー () (3) 身体合併症 (ICDカテゴリーは半角文字で入力ください)

※ICDカテゴリーは、F0～F9・G4のいずれかを記載してください

② 発病から現在までの病歴 推定発病年月 〇 昭和 〇 平成 年 月 頃 精神科受診歴等 (推定発病年月、精神科受診歴等)

自立支援医療診断書(入力用) 自立支援医療診断書(入力用) 自立支援医療診断書(印刷用) 自立支援医療診断書(印刷用) 自立支援医療診断書(印刷用)

②セキュリティオプション画面が表示されますので、オプションボタンで「このコンテンツを有効にする」を選択してOKボタンを押下します。



[illegible]

3. システムチェックおよび入力規制内容

本システムでは、大きく3つのチェック(入力規制も含む)を行っています。
以下に、チェック内容について記載します。

3. 1 入力規制

入力不可のものについては、入力時にメッセージを表示します。
入力ミスをできるだけ削減するための入力規制機能です。

【自立支援医療意見書】

- | | |
|---------|--|
| ①作成日 | 年:22以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ②生年月日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ③推定発病年月 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可 |

【精神障害者保健福祉手帳】

- | | |
|---------|--|
| ①作成日 | 年:22以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ②生年月日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ③初診年月日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ④推定発病年月 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可 |

3. 2 正当性チェック

入力時のみのチェックが難しいものについては、印刷用シート作成処理の中でチェックを行います。
入カミスができるだけ削減するためのチェック機能です。

【自立支援医療意見書】

- ①作成日
 - ・日付の正当性チェック(例えば、4月31日がエラーになる等)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05101)
- ②生年月日
 - ・日付の正当性チェック(同上)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05102)
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「明治」の場合:年については、1～45までの整数のみ正当
年号が「大正」の場合:年については、1～15までの整数のみ正当
年号が「昭和」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平成」の場合:年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05103)
 - ・作成日との連動チェック
「生年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05104)
- ③推定発病年月
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「昭和」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平成」の場合:年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05105)
 - ・作成日との連動チェック
「推定発病年月」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05106)
 - ・生年月日との連動チェック
「推定発病年月」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05107)
- ④主たる精神障害
 - ・ICDの正当性チェック(F0～F9、G4のみ正当)
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05108)
- ⑤従たる精神障害
 - ・ICDの正当性チェック(F0～F9、G4のみ正当)
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05109)
※ただし、「従たる精神障害」は必須入力項目ではないため、上記のチェックは「従たる精神障害」が入力されていた場合のみ行う。
 - ・入力チェック
「従たる精神障害のICDコード」が正しく入力されていて、かつ「従たる精神障害」が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05110)

⑥現在の病状、状態像等

(1)抑うつ状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05111)

(2)そう状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05112)

(3)幻覚妄想状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05113)

(4)精神運動興奮及び混迷の状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05114)

(5)統合失調症等残遺状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05115)

(6)情動及び行動の障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05116)

(7)不安及び不穏

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05117)

(8)けいれん及び意識障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05118)

(9)精神作用物質の乱用及び依存

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05119)

※逆に、上記(1)～(9)までで、「その他」のチェックボックスにチェックがされていない状態で、「その他」の項目に入力がある場合は、チェックボックスがチェックされたものとみなして、印刷用シートを作成します。

⑧医師の略歴(精神保健指定医番号、その他)

「主たる精神障害」のICDカテゴリーがF0, F1, F2, F3, G4以外の場合で、かつ「重度かつ継続の有無」で「有」を選択した場合、「指定医番号」あるいは「その他」の項目どちらも未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05120)

なお、「重度かつ継続の有無」で「無」を選択した場合、医師の略歴の項目が入力されていても、全て無視し、印刷用シートには表示しません。

※「主たる精神障害」のICDカテゴリーがF0, F1, F2, G4のいずれかの場合は、「重度かつ継続の有無」の項目は全て無視し、オプションボタンの選択や項目への入力があっても、印刷用シートには表示しません。

【精神障害者保健福祉手帳】

- ①作成日
- ・日付の正当性チェック(例えば、4月31日がエラーになる等)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05201)
- ②生年月日
- ・日付の正当性チェック(同上)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05202)
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「明治」の場合: 年については、1～45までの整数のみ正当
年号が「大正」の場合: 年については、1～15までの整数のみ正当
年号が「昭和」の場合: 年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平成」の場合: 年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05203)
 - ・作成日との連動チェック
「生年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05204)
- ③初診年月日
- ・日付の正当性チェック(同上)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05205)
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「昭和」の場合: 年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平成」の場合: 年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05206)
 - ・作成日との連動チェック
「初診年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05207)
 - ・生年月日との連動チェック
「初診年月日」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05208)
- ④推定発病年月
- ・和暦年号との連動チェック
年号が「昭和」の場合: 年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平成」の場合: 年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05209)
 - ・作成日との連動チェック
「推定発病年月」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05210)
 - ・生年月日との連動チェック
「推定発病年月」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05211)
- ⑤主たる精神障害
- ・ICDの正当性チェック(F0～F9、G4のみ正当)
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES05212)

⑥従たる精神障害

・ICDの正当性チェック(F0～F9、G4のみ正当)

上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05213)

※ただし、「従たる精神障害」は必須入力項目ではないため、上記のチェックは「従たる精神障害」が入力されていた場合のみ行う。

・入力チェック

「従たる精神障害のICDコード」が正しく入力されていて、かつ「従たる精神障害」が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05214)

⑦現在の病状、状態像等

(1)抑うつ状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05215)

(2)そう状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05216)

(3)幻覚妄想状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05217)

(4)精神運動興奮及び混迷の状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05218)

(5)統合失調症等残遺状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05219)

(6)情動及び行動の障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05220)

(7)不安及び不穏

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05221)

(8)けいれん及び意識障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05222)

(9)精神作用物質の乱用及び依存

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05223)

※逆に、上記(1)～(9)までで、「その他」のチェックボックスにチェックがされていない状態で、「その他」の項目に入力がある場合は、チェックボックスがチェックされたものとみなして、印刷用シートを作成します。

⑧生活能力の状態

(1)現在の生活環境

「入所」が選択されていて、かつ「施設名」が未入力だった場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05224)

「入所」が選択されていない状態で、かつ「施設名」が入力されている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05225)

⑧医師の略歴(精神保健指定医番号、その他)

「主たる精神障害」のICDカテゴリーがF0, F1, F2, F3, G4以外の場合で、かつ「重度かつ継続の有無」で「有」を選択した場合、「指定医番号」あるいは「その他」の項目どちらも未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES05226)

なお、「重度かつ継続の有無」で「無」を選択した場合、医師の略歴の項目が入力されていても、全て無視し、印刷用シートには表示しません。

※「主たる精神障害のICDカテゴリーがF0, F1, F2, F3, G4のいずれかの場合、
「重度かつ継続の有無」の項目は全て無視し、オプションボタンの選択や項目への入力があっても、印刷用シートには表示しません。

3.3 必須入力チェック

必須入力項目で、未入力状態のものがあつた場合には、エラーメッセージを表示します。
入力忘れを削減するためのチェック機能です。

以下に示す項目が必須入力項目となります。

【自立支援医療意見書】

- ・作成日
- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所
- ・主たる精神障害、ICDカテゴリー
- ・推定発病年月
- ・発病から現在までの病歴(精神科受診歴等)
- ・現在の病状、状態像等
チェックボックスが1つも選択されていない状態だった場合、エラーとする
- ・病状・状態像の具体的程度、症状等
- ・身体所見
- ・臨床検査の結果
- ・現在の治療内容 (1)投薬内容
- ・現在の治療内容 (2)精神療法等
- ・今後の治療方針
- ・現在の精神保健福祉サービスの利用状況

※上記の必須入力エラーについては、全てエラーコード:EH05101

【精神障害者保健福祉手帳】

- ・作成日
- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所
- ・主たる精神障害、ICDカテゴリー
- ・初診年月日
- ・推定発病年月
- ・発病から現在までの病歴(精神科受診歴等)
- ・現在の病状、状態像等
チェックボックスが1つも選択されていない状態だった場合、エラーとする
- ・病状・状態像等の具体的程度、症状等
- ・身体的所見
- ・臨床検査の結果
- ・現在の精神保健福祉サービスの利用状況

※上記の必須入力エラーについては、全てエラーコード:EH05201